

Composer バージョン 6.0 リリースノート

Copyright 2018, Symetrix, Inc.

January, 2018 年 1 月リリース

株式会社オーディオブレインズ

2018 年 1 月吉日

概要

イントロダクション

- I) 旧バージョンとの比較
- II) 修正された不具合
- III) インストレーションノート
- IV) ファームウェア V6.0 へのアップグレード
- V) 以前の Composer サイトファイル更新の際の注意事項
- VI) Dante、ネットワークスイッチ使用とリダンダントモードの切り替え

イントロダクション

このドキュメントは Composer version 5.6 のユーザーのための書類です。新規の Composer ユーザーの場合は [Symetrix web site](#) から前バージョンのリリースノートを探すことも可能です。

I) 旧バージョンとの比較

Composer 6.0 はメジャーアップデートになり 5.6 から様々な機能が追加されています。

Version 6.0 の新機能 (V5.6 との比較)

- 1) サイトファイルをプッシュする時間が劇的に短縮されました。通常約70%短縮され、大規模なファイルの場合だと90%以上短縮されます。
- 2) ネットワークオーディオのルーティング方法を改良しました。
- 3) Dante Controllerとの互換性を向上しました。Site Preferences内の設定でファイルプッシュ時、またはDSP起動時にもDanteルーティングを書き換えられない設定を選択できるようになりました。これによりDante Controllerからルーティングの変更を行えます。また、新たに追加されたSync機能を使用すればDante Controllerから変更された設定をComposerに反映する事も出来ます。
- 4) DanteデバイスはAES67オーディオをサポートしました。EdgeとRadiusシリーズはAES67のマルチキャストストリームを最大8チャンネルまで送受信できます。
- 5) DanteとAES67の両規格をサポートするために“Dante flow”は“Network I/O module”という記載に変更されました。
- 6) 新たにDante Lock機能をサポートしました。4桁の数字を使用してルーティングやチャンネル名などの変更を制限します。
- 7) “User-defined Dante devices”機能を搭載しました。これによりComposerから全てのDante製品をルーティング管理できるようになりました。
- 8) 互換性を高めるためにデフォルトのDanteチャンネルネームを変更しました。
- 9) Edge、Radiusシリーズ、xIn12、xOut12は、Dante 4.0ファームウェアにアップグレードされます。これによりDante Domain Managerに対応しました。
- 10) Danteバスは最大8チャンネルから最大64チャンネルに拡張されました。
- 11) Audinate社のDante Virtual Soundcard (DVS) をサポートしました。
- 12) AtteroTech社のunDI02x2+、unDX2I0、unD6I0、unD6I0-BTをサポートしました。
- 13) StewartAudio社のAV8-2-LZ-D、CVA16-1-CV-Dをサポートしました。
- 14) Powersoft社のQuattrocanaliシリーズをサポートしました。
- 15) Danteに関する診断情報がComposer上のDiagnosticモジュールから確認できるようになりました。
- 16) コントロールナンバーのリンクはオフラインでも動作するようになりました。またこれまでのリンク機能は省略され同じコントロールナンバーを持ったパラメーターは自動的にリンクされます。
- 17) コントロールナンバーを自動的に割り振る機能は重複した番号を自動的に割り振らないように改良しました。
- 18) ARC-WEB機能が向上しました。登録できるメニューが24から32に拡張され、アイテム名も最大8文字から31文字まで表示できるようになりました。
- 19) TCP/IP経由での同時コントロール数が4から6に増化しました。
- 20) サイトファイルをプッシュする度にSite Preferencesオプションが表示される様に変更されました。この機能はオフにすることもできます。
- 21) Designs/Conferencingフォルダ内に会議設備用のサンプルサイトファイルを追加しました。

- 22) 矢印キーを使用して複数のモジュールを移動させている時シートの境界線にぶつくとレイアウトが崩れる不具合を修正しました。
- 23) PoE+機器の起動時の不具合を解消しました。
- 24) xIn4、xOut4、xIO4x4は新たにシグナルインジケータとクリップインジケータ機能を搭載しました。
- 25) 様々なマイナーエラーを修正しました。

II) 既知の不具合

- 1) Danteのリダンダンシーモードの設定変更を行った場合にDante信号が出力されないことがあります。詳細は、VI) Dante、ネットワークスイッチ使用とリダンダントモードの切り替え を参照してください。
- 2) 全てのデバイスをミュートするプリセットを使用する場合にAtteroTech社やその他サードパーティーデバイスの機器がミュートされない場合があります。
- 3) xIn, xOut, xIOもしくはサードパーティー製のDanteユニットがネットワークに接続された場合に、Composerから認識されるのに最長2分程度かかる場合があります。また接続解除時も最大1分間程Composer上に表示が残る場合があります。
- 4) Composer上で一部の制御がSymVueに反映されません。詳細はヘルプファイル内のSymVueトピックを参照してください。
- 5) SymVueで大規模の複雑なコマンドを設定する場合、処理に時間がかかることがあります。
- 6) 大規模なマトリクスを設定をプリセットに100個以上保存すると処理速度が低下することがあります。
- 7) SymVueでShure社のマイクロホン制御を含むプログラムを作成した場合、処理速度が落ちることがあります。Shure社のマイクロホンのコントロールを最小限にすることでパフォーマンスレベルを維持できます。
- 8) 稀にSymVueパネルとコントロールスクリーンのディスプレイ表示と数値に差があります。例えばBritish EQの周波数表示でコントロールスクリーンが200,000Hzを示している時、パネル側では200,002Hzと表示されます。この差は0.002%未満の相違のため無視しても全く問題になりません。
- 9) オクターブとQ表示を変更できるEQモジュールを使用する場合、SymVueパネルではオクターブ設定にしているでも常にQの表示になってしまいます。エクスポート時に作られた設定が反映されるため、エクスポート後に表示単位を変えても反映されません。エクスポート後に表示を変更できるようにしないでください。
- 10) 背景イメージをコントロールスクリーンで使う場合に背景イメージを選択してしまい、操作したいコントロール項目が触りにくい。避けるためには背景イメージを右クリックにてロックし、Altキーを押しながらコントロール項目の設定を行ってください。
- 11) DTMFデコーダーモジュールでDTMFシーケンスはプリセットに保存されません。この設定はセッティングファイルには保存されます。
- 12) 対応するフェーダー無しに数値ボックスをコントロールスクリーンに配置した場合、正常にアップデートされない事があります。必ずフェーダーも同時に配置してください。
- 13) 1つのシステムにDanteデバイスはSymetrixDSPを含み最大80台までが許可されています。80台を超えると特定のデバイスが見つけられなくなる場合があります。

- 14) ARC-WEBダイアラーでスピードダイヤルに数千を超える膨大な文字が入力されていると正常に動作しないことがあります。通常の使用方法で問題になることはありません。
- 15) xIn4、xOut4、xI04x4デバイスのDante Kernelファームウェアをアップグレードする際、Danteネットワーク上に大量のDanteデバイスがあるとアップデートは成功したのにも関わらず失敗のメッセージを表示することがあります。エラーメッセージを表示せずにアップグレードしたい場合はxI04デバイスを1台ずつ、1台のDSPに接続しアップグレードを行ってください。
- 16) セキュリティソフトが作動している場合、稀にWebモニタリングが正常に行えないことがあります。その場合はセキュリティソフトをOffにするかDSPユニットのIPアドレスをセーフリストに追加してください。

III) インストレーションノート

既に導入済みの設備の機材をアップグレードする場合は下記の手順を推奨します。

1. **現在のサイトファイルを保管していることを確認してください。**（拡張子 .symx のファイル）。既にPCに保存されている場合は手順2に進んでください。サイトファイルを保管していない場合、以前のComposerソフトウェアにてSymetrixDSPと通信し“Go On-line (Pull from Unit)”を行い、SymetrixDSPからサイトファイルを引き出して保存及び保管してください。
2. “Upgrade Firmware” ウィンドウから“Erase Memory”をクリックし“Stored Site File”にのみチェックいれ“ERASE”をクリックしてください。この作業は接続されている機器全てに行ってください。
3. ファームウェアをアップグレードして下さい。
4. お持ちのサイトファイルをSymetrixDSPハードウェアにプッシュしてください。Composer 6.0を開きGo On-line (Push Design to Hardware) を実行します。

上記の手順を行えばハードウェアとComposerソフトウェアのバージョンが一致しシステムの正常動作が保証されます。

Composerソフトウェア6.0は以前のバージョンのComposerソフトウェアとは別のロケーションに保存され、以前のバージョンとは干渉しないよう設計されています。そのためComposerソフトウェアは以前のバージョンのComposerソフトウェアと同じPC内に共存することができます。

ただしハードウェアのファームウェアバージョンとComposerソフトウェアは正常な通信を確保する為に同じバージョンでないといけません。ファームウェアとソフトウェアが異なるバージョンの場合はアラートが表示されます。

IV) アップデート手順

SymetrixDSP ファームウェアと Composer ソフトウェアのバージョンは必ず同じバージョンである必要があります。最新のファームウェアは常に最新の Composer ソフトウェアとセットで提供され、ソフトウェアのインストールと同時にコピーされます。最新のソフトウェアはオーディオブレインズホームページのダウンロードページよりダウンロード可能です。

Composer はファイルをプッシュする時に自動的にバージョンチェックを行い、Composer ソフトウェアと機器のバージョンが異なる場合はアラートが表示されアップデートウィンドウに誘導されます。これは全ての DSP と xIO ユニットを含みます。

アップデートを始めるには、まずアップデートするバージョンの Composer ソフトウェアをインストールし、その Composer ソフトウェアを開きます。

※Symetrix 機器のアップデート中はパワーアンプやスピーカーの電源をオフにするか、接続を外して音の出ない状態にしてください。

また、アップデート中は電源を切らないでください。正常に起動できなくなるおそれがあります。

サイトファイルを使用して DSP をアップデートする方法

1. コンピューターとシステムを接続し、全てのハードウェアをロケートします。既存のファイルがある場合はそのファイルを使用します。
2. Hardware メニューから “Upgrade Firmware/Hardware Setting” を選択してください。ウィンドウが表示されたら “Auto Upgrade All Design Units…” ボタンを押してください。サイトファイル内に配置された全てのハードウェアのファームウェアアップデートが行われます。

※この方法では xIO ユニット、ARC ユニットは自動的に更新されません。

サイトファイルを使用せずに 1 台ずつ手動で DSP をアップデートする方法

1. コンピューターと SymetrixDSP を接続します。
2. Hardware メニューから “System Manager” を選択してください。“Hardware” タブを選択するとコンピューターに接続されている全ての DSP ユニットが表示されます。
必要に応じて “Network Search Parameters” を設定してください。
3. アップデートするハードウェアを選択して “Upgrade Firmware” ボタンを押してください。
4. “Upgrade Firmware/Hardware Settings” ウィンドウが表示されます。
“Composer Firmware File” の下の “Upgrade…” ボタンを押してください。ファームウェアファイルを指定するウィンドウが表示されます。デフォルト設定では、C:\Program Files (x86)\Symetrix\Composer 6.0\Upgrade folder を参照します。正しいファイルを選択し “開く” を押してください。自動的にアップデートが始まります。
5. 複数のハードウェアのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

xIn12, xOut12, xIn4, xOut4, xIO4x4 のアップデート方法

1. SymetrixDSP と xIn/xOut/xIO を接続してください。デバイスは必ず SymetrixDSP の Dante ポートに接続されている必要があります。
2. 全ての DSP ユニットと xIO ユニットをロケートします。既存のファイルがある場合はそのファイルを使用します。
3. xIn/xOut/xIO ユニット上で右クリックし “Unit Properties” を選択してください
4. Firmware に現在の User バージョンと Kernel バージョンが表示されます。
5. “Upgrade Firmware…” ボタンを押してください。アップデートの必要がない場合は (will not be upgraded) と表示されます。“Upgrade Firmware” ボタンを押しアップグレードしてください。
6. 複数の xIO ユニットのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

ARC デバイスのファームウェアアップグレード

ARC デバイスのファームウェアアップグレードは下記の手順に従って行ってください。

※ARC デバイスはユニークアドレスを割り振る必要があります。

(通常ロータリーエンコーダーで設定します。ARC-3 の場合は設定モードに入る必要があります。)

サイトファイルを使用してアップデートする場合

1. 新規でファイルを作成する場合は、新規でファイルを作成し DSP のロケートを行います。ARC の設定も行う必要があります。
ARC デバイスが設定されたファイルを持っている場合はそのファイルを使用します。
2. Hardware メニューから “Upgrade Firmware/Hardware Settings…” を選択してください
3. プルダウンリストから ARC デバイスが接続されている DSP ユニットを選択して “Upgrade ARCs” をクリックします。
4. 接続されている ARC 機器の一覧が表示されます。アップデートが必要な機器は Status に “Please Upgrade to xxx” と表示されます。必要がない場合は “Current Release” と表示されます。
5. アップデートするデバイスを選択し “Upgrade Firmware” ボタンを押してください。
6. ファームウェアファイルを指定するウィンドウが表示されます。適切なファームウェアを選択し “開く” を押してください。自動的にアップデートがはじまります。
7. 複数の ARC デバイスのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

サイトファイルを使用しないでアップデートする場合

1. ARC デバイスを SymetrixDSP の ARC ポートに接続します。
2. Hardware メニューから “System Manager” を選択してください。 “Hardware” タブを選択するとコンピューターに接続されている全ての DSP ユニットが表示されます。
必要に応じて “Network Search Parameters” を設定してください。
3. ARC デバイスを接続している DSP ユニットを選択して “Properties…” ボタンを押してください。
4. “Hardware Properties” ウィンドウが表示されたら “RS-485 Network” タブを選択してください。
5. 接続されている ARC 機器の一覧が表示されます。アップデートが必要な機器は Status に “Please Upgtade to xxx” と表示されます。必要がない場合は “Current Release” と表示されます。
6. アップデートするデバイスを選択し “Upgrade Firmware” ボタンを押してください。
7. ファームウェアファイルを指定するウィンドウが表示されます。適切なファームウェアを選択し “開く” を押してください。自動的にアップデートがはじまります。
8. 複数の ARC デバイスのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

V) 以前のサイトファイル更新の際の注意事項

Composer ソフトウェアはソフトウェアのバージョンごとにサイトファイル(.symx file)フォーマットが異なります。以前の Composer で作成されたサイトファイルは新しい Composer で開くことは可能です。**しかし、作成されたサイトファイルが使用している Composer ソフトウェアよりも新しい Composer ソフトウェアで作成された場合はアラートが表示され、一部機能が正常に動作しない可能性がありますので動作の保証ができません。**

もしコンピューターに複数の Composer を共存させる場合はファイルフォーマットの違いを最小限に収めるため下記の手順を推奨します：

- A) 以前のバージョンで作成したサイトファイルのバックアップを取っておく
- B) バージョン 6.0 のサイトファイルの名前を以前のバージョンのものと差別化して保存する
- C) ソフトウェアをインストールする際にデフォルトのロケーションを変えておく
- D) バージョン 6.0 ソフトウェアを以前のバージョンのファームウェアの機器と接続しない

A) バックアップファイル保存の推奨

新しい Composer ソフトウェアをインストール、もしくは使用する前に以前のバージョンのサイトファイルを保存しておくことを推奨します。保存しておくことで以前のセッティングを復元することが可能です。

※注意

新しい Composer で一度サイトファイルを保存すると以前のバージョンでは開けなくなる可能性があるので注意してください。

B) バージョンごとに異なったサイトファイル名をつける

もし PC 内に複数バージョンの Composer をインストールしている場合はサイトファイルの保存を行う時にバージョンを表記しておくことを強く推奨します。これによりバージョンごとの混同がなくなります。

C) ソフトウェアインストールの保存ロケーション設定

Composer ソフトウェアをインストールする際、サイトファイルの保存ロケーションを選択しておくことで複数のバージョンのソフトウェアを使用してもファイルが混じらず分けることができます。

D) ソフトウェア-ファームウェアバージョンの同期

ソフトウェアとファームウェアは正常に動作するには同じバージョンである必要があります。バージョンが異なる場合はこのリリースノートの手順に従いバージョンを合わせてください。バージョンアップはどのバージョンのファームウェアであっても可能です。

VI) Dante ネットワークのモードの切り替えについて

DSP ユニットの Dante mode が Switched mode に設定されている時に、ケーブルが Redundant 接続 (Primary から Primary、Secondary から Secondary へ計 2 本接続) された場合、Dante モードの変更の失敗やオーディオの損失が発生することがあります。

モードを変更する場合は下記の手順を参照してください。

接続方法によって 2 種類の手順があります。

A - ネットワークスイッチを使用、もしくは 2 台の DSP ユニットのみをダイレクトに接続する場合

1. Dante ポートの接続は Primary ポートのみを使用してください。
ネットワークスイッチを使用せずに 2 台以上の DSP ユニットが接続されている場合は、下記デジチェーン接続の場合へ進んでください。
2. Composer 内で、Tools-> Dante Flow Manager->Configure Dante メニューに進んでください。
“Redundant Network” もしくは “Switched Port” から変更したい設定を選択してください。
3. ファイルを Push しオンラインにしてください。
Dante の内部設定を変更しているため普段よりも少し長めに時間がかかります。
4. 接続されている DSP ユニットの電源を落としてください。
5. 新しく設定したモードにあった配線を行ってください。
Redundant Network に設定した場合は 2 台の DSP ユニット間で Primary と Primary、Secondary と Secondary を接続してください。ネットワークスイッチも分ける事ができます。
6. DSP ユニットの電源を入れてください。
7. 再び Push しオンラインにしてください。

B - デジチェーン接続の場合

1. 2 台の DSP ユニットの Primary ポート同士のみで接続してください。
複数台ある場合は最初に接続されている 2 台のみで接続してください。
2. Composer 内で、Tools-> Dante Flow Manager->Configure Dante メニューに進んでください。
デジチェーン接続は Switched モードのみの対応なので “Switched Port” に設定してください。
3. DSP ユニットが複数台ある場合はサイトファイル内で最初に接続されている 2 台のユニットのみを有効にしてください。
(デザインビュー上で接続されていない DSP を右クリックして “Disable Unit” を選択します。)
4. ファイルを Push しオンラインにしてください。
Dante の内部設定を変更しているため普段よりも少し長めに時間がかかります。
5. DSP ユニットが複数台ある場合は 2 台目の機器を取り外し、3 台目のユニットの Primary ポートから最初に接続されている DSP ユニットの Primary ポートに接続してください。
6. 3 と同様にサイトファイル内で接続されている DSP ユニットのみを有効にしてください。
7. 再びファイルを Push しオンラインにしてください。
8. 全ての機器に 5-7 と同じ設定を行ってください。
9. DSP ユニットの電源を落としてください。
10. 全ての DSP ユニットの Primary ポートをデジチェーンで接続してください。
11. DSP ユニットの電源を入れてください。
12. 全ての DSP ユニットの Primary ポートを “Enabled Unit” にして再び Push しオンラインにしてください。

※各 DSP ユニットの Dante ネットワークモードはフロントパネルから確認する事ができます。

AUDIO  **BRAINS**

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話 : 044-888-6761

AUDIO  **BRAINS**